

ACTIVITY OFFICE



ビジネスの市場、環境は大きく変化しています。IT技術の進歩は情報の伝達やコミュニケーションに距離と時間の制限をなくし、組織の仕組みさえ変化させていきます。SOHO、ノンテリトリアルオフィス……。これからの時代に本当に必要なオフィスとはどのようなものでしょうか。個人の仕事に場所と時間の制限がなくなった今、オフィス内での重要な行為とはデスクに向かう個人作業よりもむしろ、それ以外の多くの「アクティビティ」であると我々は考えます。情報・成果・背景の公開、共通課題の認識、なにげない会話からのアイデアのひらめき、さりげない行動による偶然の発見……。いつの時代も集まって働くことの必要性は変わりありません。1+1が3にも4にもなるような、そんなオフィスを目指します。

KOJI ABHITANI + YOSHITAKA IBIHARA

00 多様化するワークスタイル、ワークプレイス

ビジネスの市場、環境は大きく変化しています。IT技術の進歩は情報の伝達やコミュニケーションに距離と時間の制限をなくし、組織の仕組みさえ変化させていきます。SOHO、ノンテリトリアルオフィス……。これからの時代に本当に必要なオフィスとは？

トップダウン型 → 流動的なグループ型

01 「アクティビティ」

オフィスでの行動

デスクに向かう個人の作業 + それ以外の行為 (打ち合わせ、プレゼン、会議、発表、トイレ、喫煙、雑談……) + 情報・成果の公開、背景の公開、共通課題の発見、偶然の発見、アイデアのひらめき…… = 「アクティビティ」

個人の仕事に場所と時間の制限がなくなった今、オフィス内での重要な「アクティビティ」とはデスクに向かう個人作業よりもむしろ、それ以外の多くの行為であると我々は考えます。

02 「アクティビティスペース」

コアに閉じ込められていた「アクティビティ」を → 外側に開放します

03 「アクティビティボックス」

外部に面した「アクティビティボックス」。ここであなたは一時的に仕事から解放されます。

- ・トイレ
- ・給湯室
- ・喫煙所

ホールバー、アロミ/ロッキング、フロストガラス

04 「アクティビティデッキ」

外を見ながらくつろぐ 外に対して開ける

プレゼンテーション、ミーティング

外部に面した「アクティビティデッキ」。都市にオフィス内の「アクティビティ」がふれ出します。

- ・ミーティング
- ・プレゼンテーション
- ・雑談

エレベーター、トイレ、スラブ上階層により下階の自然光を取り入れる、ウッドデッキ

05 システムコア

垂直に通ったシステムコア。動線とともに設備コアとしても機能します。

- ・EV
- ・階段
- ・設備シャフト

ボイドスラブによる断熱効果、EVシャフト

06 ストラクチャー

格子チューブによるストラクチャーは建物を強く支えると同時に、ワークスペースとアクティビティスペースをわかりやすく分割します。

システムコア、アクティビティボックス

07 ワークスペース

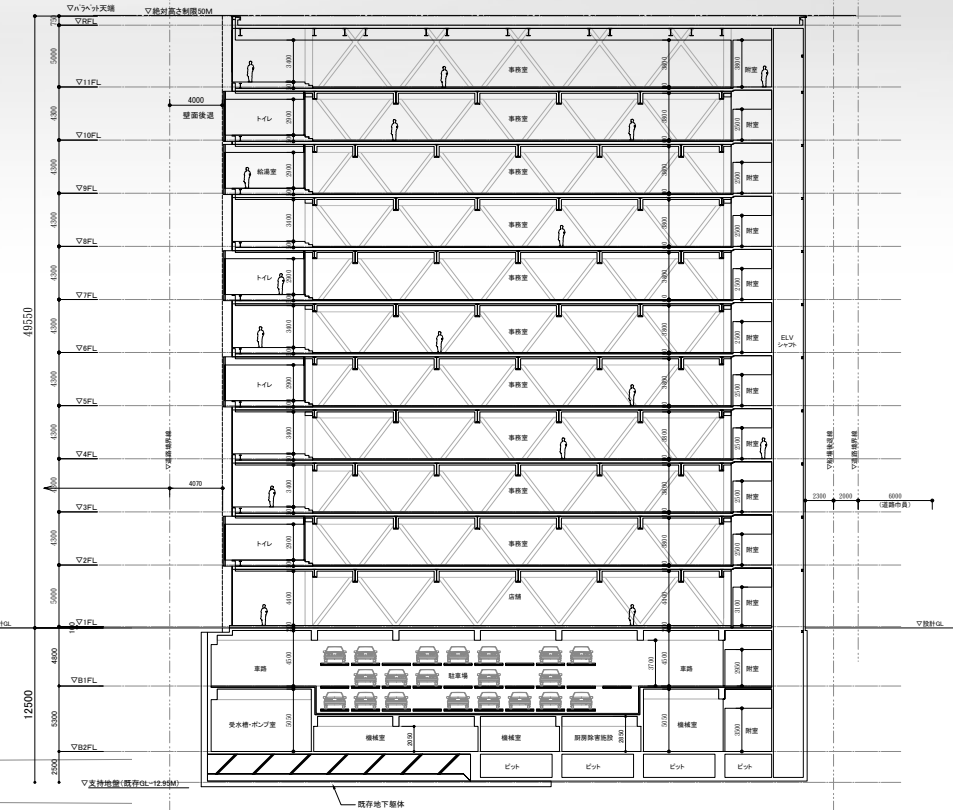
大きなワンルームのワークスペースは多様なデスクレイアウト、テナント分割を可能にします。

08 「アクティビティオフィス」

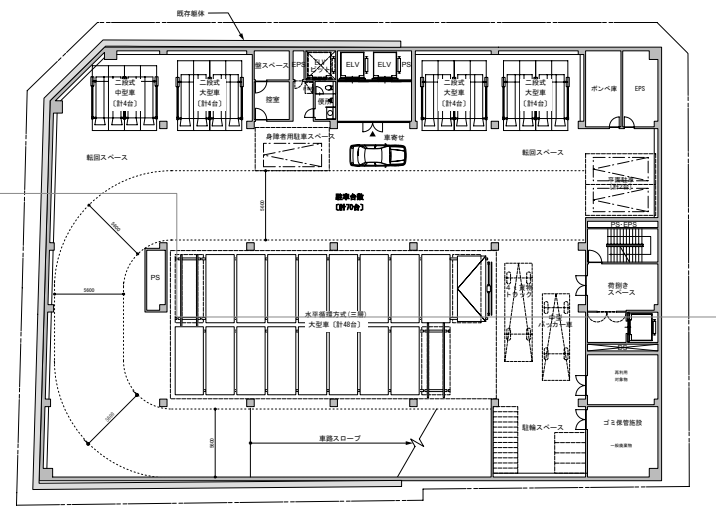
なにげない会話からのアイデアのひらめき、さりげない行動による偶然の発見……。いつの時代も集まって働くことの必要性は変わりありません。1+1が3にも4にもなるために……。



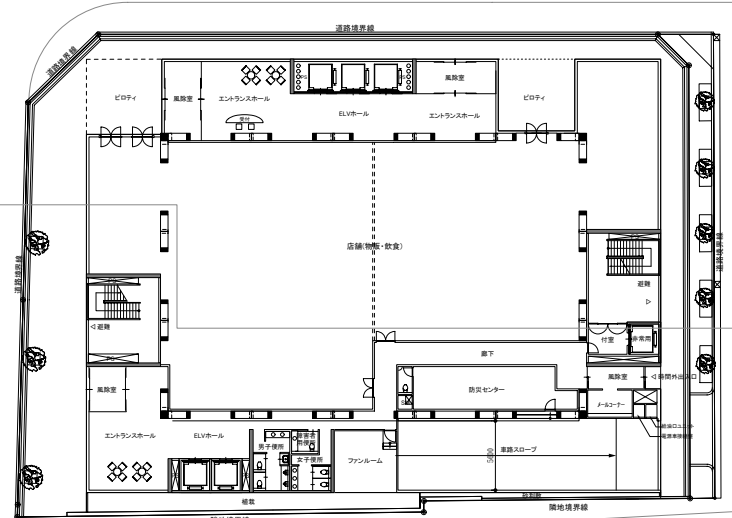
KOJI ASHITANI+YOSHITAKA ISHIHARA



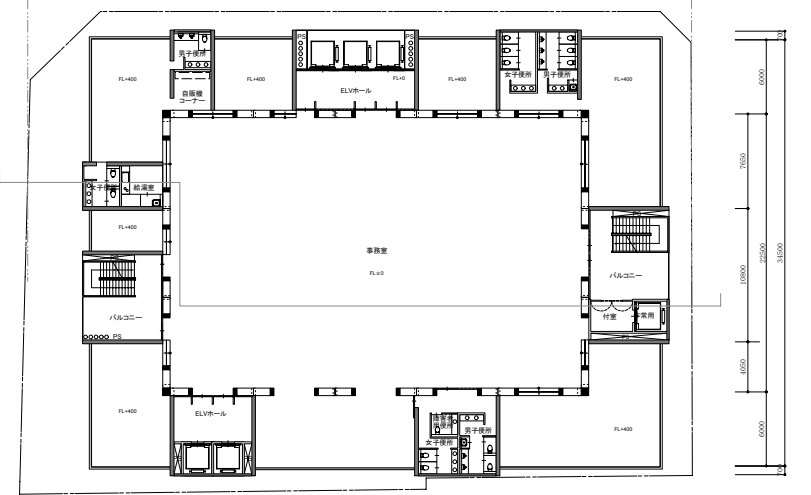
断面図 1/300



地下1階 平面図 1/300



1階 平面図 1/300



基準階 平面図 1/300